

「COPD 急性増悪に対し NPPV 使用している際に

消化管穿孔を来した一例」

名瀬徳洲会病院 2 年次研修医

橋本 清利

78 歳男性。COPD 及び 30 歳時に胃潰瘍にて胃の 2/3 を切除した既往がある。COPD に対し SIMVmode にて呼吸器管理を行い、O₂、CO₂ コントロール共に良好であったが、筋性防御および腹部全体の反跳痛を認め腹部造影 CT にて freeair を認めた。

スライドにて発表とさせていただきます。